

奈良市公民館運営審議会会議録

令和 7 年 2 月 21 日会議

令和 6 年度第 2 回奈良市公民館運営審議会会議録

開催日時	令和 7 年 2 月 21 日(金) 午後 2 時 00 分から午後 4 時 00 分まで	
開催場所	奈良市役所 中央棟地下 1 階 B1 会議室	
議 題 又は 案 件	1 令和6年度公民館事業の実施状況について 2 令和6年度公民館大会についての報告 3 その他	
出席者	委 員	今西委員、奥村委員、香川委員、小西委員、小林委員、杉山委員、橋本委員、森委員、吉岡委員【計9人出席】
	事務局	教育長、教育部長、教育部次長、地域教育課長、地域教育課課長補佐、生涯学習財団事務局長、生涯学習財団事務局公益事業課長
開催形態	公開(傍聴人 3 人)	
担 当 課	教育部 地域教育課	

議事の内容

○教育長挨拶

○会議録の署名について

議長から今回の署名委員の指名及び確認(香川委員と小林委員)

○【案件1】 令和6年度公民館事業の実施状況について

生涯学習財団事務局より、つぎのとおり説明を行った。

- 令和6年度公民館事業の実施状況及び利用状況について、令和6年4月から12月までは 27,506 件・367,922 人の利用があった。令和5年度の同期間と比較して、件数は 8.2%・2,106 件の増、人数は 15.0%・47,925 人の増となっております。令和6年12月までの利用人数 367,922 人の内訳としては、主催事業が 48,945 人、施設提供が 318,977 人となっております。主催事業は、延べ 1,253 回開催し、延べ 48,945 人の方にご参加いただきました。現時点で集計した利用状況での報告となるので、この数字に令和7年1月から3月の利用状況がプラスされたものが今年度の最終的な利用状況となる。コロナ禍の余波から、徐々に社会全体が日常を取り戻しつつあることに比例し、利用者数も増加傾向にある。また、令和5年11月から令和6年3月までの生涯学習センターの大規模な施設改修工事が終わり、利用者も戻りつつあるので、最終的な利用状況は前年度より増えるの見込まれる。
- 令和6年度 特色ある事業について
 - (1) 子どもの学び
「スイーツで学ぶ科学の世界」「とびだせ！絵本のパン教室」
 - (2) 若い世代の学び
「ビビッと時事」
 - (3) 高齢者のデジタルデバインド対策
「スマートフォン教室」

(4) 奈良を知る・愛する事業

「もっと知りたい！富雄丸山古墳」「高の原タウンウォーク」「学生が語る『田原村』～『月刊田原』を読み解く」

(5) 共生社会への学び

「今年のおせちは俺に任せろ！」「無戸籍と伴走支援」

(6) 公民館を知る・考える事業

「公民館のお仕事体験」「公民館の学びの扉を開こう！」

(7) 家庭教育サポートネットワーク支援事業

「会話がはずむボードゲーム」「子ども食堂や地域サロンを考える」

前回の公民館運営審議会でご指摘のあった、青少年の居場所づくりについて、現在、調査・検討を進めている。まずは、できる館から自習室など中高生が立ち寄りやすい空間を作り、そこで彼らの生の声を聞き取りながら、彼らの望む居場所や事業を一緒に作り上げていこうと考えている。また、多様な地域団体との協力・連携等を進める意識を高めるよう、様々な職員研修を行っている。

【質問・意見等】 ♡:意見 ◆:質問 ◇:回答

委員

♡講座の目の付け所がとてもユニーク。子ども未来部の SNS で公民館の情報が入ってくるようになった。小学生や中学生の兄弟も一緒に講座に参加できることもわかり、わかり易い情報提供だと、保護者からの声をお聞きして、功を奏したと思う。

委員

◆三笠公民館での「ビビッと時事」について、参加された方に 20 代、30 代は多かったのか。

生涯学習財団事務局

◇残念ながら 20 代、30 代よりは、40 代、50 代が多かった。日程が合えば参加したかったという若い方のお声もあったので、日程をもう少し考えたい。

委員

◆定員に対する申込者数をみると、子どもの講座は人数が多くニーズが顕在化している。このニーズにどう対応していくのか、考えをお聞きしたい。一方で、『公民館を知る・考える』の講座では、定員を下回っている。当初の意図と今後の見通しを教えてください。

生涯学習財団事務局

◇子どもの講座は大変人気がある。人気のある講座は、開催回数を増やし、少しでも多くの方に参加してもらえるように心掛けている。初めての開催で定員を下回った講座もあるが、結果的に人数規模が適正であったということもあるので、今後も開催人数等を検討したい。70 人に対して 38 人の申し込みであった講座については、チャレンジとして初の試みで開催したという背景がある。

委 員 ♫時間や労力等、限られた資源の中で課題解決を目指さなくてはならない
と思うので、持続的に取り組めるよう各館で精査してほしい。

委 員 ♫平城西公民館で1月に開催された「不登校ってダメなこと?!」という講
座で、フリースクールの卒業生と現役生が語り、とても感動した。参加した
方にもストレートに響いた講座。共催者としてもっとお声がけして、より多く
の方に聞いてもらえればよかったと思った。

生涯学習財団事務局 ◇在校している方や卒業生に関わってもらった講座。生の声を届けるよう
な内容の濃い講座をこれからもつくっていききたい。

○【案件2】 令和6年度公民館大会についての報告

令和6年10月30日に開催された全国公民館研究集会(第46回全国公民館研究集会奈良大会・第71回近畿公民館大会奈良大会・第71回奈良県公民館大会及び第35回奈良県社会教育研究大会合同大会)について、参加委員から報告書のとおりに説明が行われた。

○【案件3】 その他

・公民館の建て替えについて

〈事務局説明〉

神功小学校の跡地に、平城西公民館を建て替える件についてご報告させていただく。経緯について、2019年に神功地区自治連合会から要望が出されていた。その後に神功小学校の移転案が出て、その跡地利用に関する検討協議会が発足し、その協議会からも要望を頂いた。2024年11月15日、16日に地元説明会を実施したところ、自治連合会から自治会を通じて意見を聴取して作られた案をお示したが、全ての住民には周知が及んでいなかったもので、知らなかったという住民の方もおられた。そのため、自治連合会が預かり、再度住民の意見を聴取した上で、12月25日に改めて要望という形で頂いた。

単なる老朽化に伴う建て替えではなく、学校跡地活用及びまちづくり計画の一環として生まれた提案である。今回の建て替えについては、地域に及ぼす効果についても検討している。近隣商業地域にある公民館は、立地としても都市計画上でも重要な底地であり、その立地を活かすことは地域にとってもメリットがある。かねてからバリアフリーについて要望もあった。費用面については、総合的なまちづくり計画の一環として、住宅地売却費用が見込める。

地元説明会で出てきた意見として、子どもの居場所スペースをつくってほしい、現在の公民館と同じ規模を維持してほしい、バリアフリー建築(平屋建て)、駐車台数を現状以上の台数分確保してほしい、駐車場の位置についても活用しやすい位置を検討してほしい、こども園や学校と連携しやすいように建築してほしい、地域団体の活動場所としても、地元のニーズを反映した上で建ててほしいといったお声を頂戴した。

今後のスケジュールについては、来年度に設計、再来年度に工事を予定している。ただ、これだけの規模の開発になるため、スケジュールが変わることもある。現在、課として把握している内容について、ご報告させていただく。

【質問・意見等】 ♪:意見 ◆:質問 ◇:回答

- 委 員 ♪(地元)地域教育協議会で活動しているので、地域や学校でのお声もたくさんある。子どもたちも遊具が無い中で 3 年生活している。意見をまとめるのは難しいと思うので、時間がかかるのは仕方がない。地域や学校からは、さすがに 6 年間遊具が無い中で子どもたちを卒業させるわけにはいかないといったお声もあり、教育委員会にも要望が出ていると思うので、引き続き検討をお願いしたい。
- 委 員 ◆神功小学校を卒業して、自治会の回覧板ではじめてこの移転を知った。住民の意見集約の場があったようだが、行けなかったので地元説明会での内容などが分かるように周知されていると良いのではないかと。
- 事 務 局 ◇周知不足について地元で既にご意見を頂いていたため、再度呼びかけ 12 月に地元説明会を実施した。それでも中々全体へ周知することが難しいが、自治連合会、自治会からも周知していただいている。
- 委 員 ♪まちづくり計画の一環としてお聞きした。どんなまちにしようとしているのかを、住民を含めて話し合いをしているか。自治連合会や自治会経由ですることも必要であるし、住民が主体的になる必要もあると思うが、今こそ社会教育の専門家である公民館が力を発揮するときではないか。まちづくりをみんなで考える機会を公民館がリードしてほしい。
- 委 員 ◆どういう公民館をつくるのか、どのように公民館をつくっていくのかが大切。どういう公民館にしていきたいのかを考えておられるのか。
- 事 務 局 ◇これまでは土地活用の観点から地元説明会を開催していたが、次年度設計にあたって、どういった公民館をつくるのか、意見を集約していくことが重要であると思う。若い世代から高齢者世代まで、どういう形で意見を聴取していくのが望ましいか検討していかないといけないと思う。ただ説明会でご意見は頂戴したが、様々な意見が出てまとまりきらなかった。
- 委 員 ◆様々な世代の方が集う公民館をつくるためには、みんなで公民館をつくっていく必要がある。どのような部屋がほしいかといった個別の意見も大切だが、どういう公民館にしていけばみんなが使える公民館になるのか。それを考えるプロセス自体が社会教育そのものである。今回の跡地活用は公民館単体の話ではないので、スケジュール調整が難しい部分もあると思う。しかし、利用される住民の顔を思い浮かべながら、様々な世代が集まって自分たちの公民館を考える場をつくることが大切ではないか。公民館は民主主義を学ぶ場でもある。地域でそのように学び合う機会を保障していただきたい。

事務局 ◇委員のご意見のとおり、そのプロセス自体が社会教育そのものである。あまり結果を恐れずに色んな形で意見を頂く機会をつくることが大事。間取りについての意見になると収集がつかなくなってしまうが、どういった公民館にしたいのかというテーマであれば意見聴取しやすいと考える。

委員 ◆公民館運営審議会委員の中でも関心のある委員も参加できればいい。「公民館を知る、まなぶ」といった事業もある。情報をうまく広報することで、自分たちの公民館を自分たちでつくっていくという機運が他の公民館にも伝わっていけば、変なハレーションも起こらないのではないかな。

事務局 ◇手法についても、財団と協議しながら検討していきたい。

委員 ◆来年度に設計者をプロポーザルで選定されるのであれば、設計者次第でこの構図も変わる可能性があるということか。

事務局 ◇土地活用と住宅の販売についてはプロポーザルで実施。公民館とこども園については土地の造成までを行う。公民館の設計については、別の業者を選定したうえで教育委員会が主体的に関わる予定。

委員 ♫バリアフリーなら平屋建てといった、少し決まりきっているようにも見受けられるので少し怖く感じた。

委員 ♫数年前に提出した自治連合会からの要望書では、学校の西側部分を予定していたが、検討を重ねられていると思う。公民館が学園スペースに建つことはすごく嬉しいことだと思う。

事務局 ◇当初は西の端に予定していたが、そこでは変形の土地になってしまうなどリスクがあった。また、学園からも距離が出てしまうということで、変更した経緯がある。平屋建てについては、検討委員会からの意見もあるので、考えていかなければならないと思っている。

○その他意見等

【質問・意見等】 ♫:意見 ◆:質問 ◇:回答

委員 ◆第1回の審議会でも申し上げたが、今期の公民館運営審議会の委員は、定数20名に対して委嘱数10名と小規模である。今期の委員もそれぞれ公民館にかかわりを持ってはいるが、公民館利用者、例えば自主グループからも委員の選出をお願いしたい。次期選出に向けて、次回検討状況をお聞きしたい。2点目が、2月4日に奈良市社会教育委員会議が開催された。次年度の同会議では、次期の奈良市社会教育推進計画の策定

が進められると理解している。公民館運営審議会はその策定に関わる会議体ではないが、公民館がどういう形で社会教育推進計画に盛り込まれるのかを知りたい。社会教育推進計画は公民館のための計画ではないが、公民館は地域の社会教育を支える大切な拠点であることから、どこでどのように議論を進めていくのかという見通しを知っておきたい。

事務局 ◇公民館運営審議会委員選出については、引き続き検討していきたい。社会教育推進計画について、令和 8 年開始を見込み、どういった形でどういった方々から意見をいただくのか、実施方法についても検討している。先般の会議でも検討段階であるので、しっかり協議していきたい。皆さまからもご意見を頂戴できるようであれば、お願いしたい。

委員 ◆協議はどこでされるのか。

事務局 ◇課内で方向性を検討する予定。

委員 ♫公民館運営審議会は任意設置であるので、奈良市に設置されていることに感謝している。その上で、市内の公民館 24 館、それぞれの個性があるので、各館、それが難しければブロックごとにでも公民館運営審議会を設置するのが望ましい。しかし、現実的に到底難しいのも分かっている。そうなってくると、奈良市の公民館運営全体について議論する私たちの審議会において、委員の構成はとても重要なものとなってくる。利用者や自主グループの運営を担っているリーダーなど、より多くの声を取り入れた審議会運営をどのように実現化していくか。条例の範囲の中でご検討いただきたい。委員の皆さんからもご意見をお願いしたい。

委員 ◆公民館職員の配置状況について。館長兼務や館の職員が 1 名といった人員不足について、現状を伺いたい。

生涯学習財団事務局 ◇現在、兼務館長が 1 名（興東公民館と柳生公民館）。正規職員の退職に伴った採用補充が無い状態で、賃金上昇の中、限られた指定管理料の中で嘱託職員の雇用も難しい。また、社会保険適用の拡大もあり、臨時職員が 13 日勤務から 11 日勤務となり、必然的に 1 人で館にいる日数が増えた。

委員 ♫大会報告、そして、この間の公民館運営審議会でも何度も確認してきたように、奈良市の公民館は各館に専門職が配置され、生涯学習と地域づくりを支える教育施設として機能していることが強みである。人員配置の条件整備、そして、職員の専門性が養われる人事計画、そのために必要となる予算措置も含めて、しっかり検討していただきたい。

委 員	♪決して予算要求を申し上げているのではないが、人員を配置しないと公民館もまわっていかないのも事実。
資 料	会議次第 委員名簿 令和6年度公民館事業の実施状況について 令和6年度公民館大会についての報告 その他